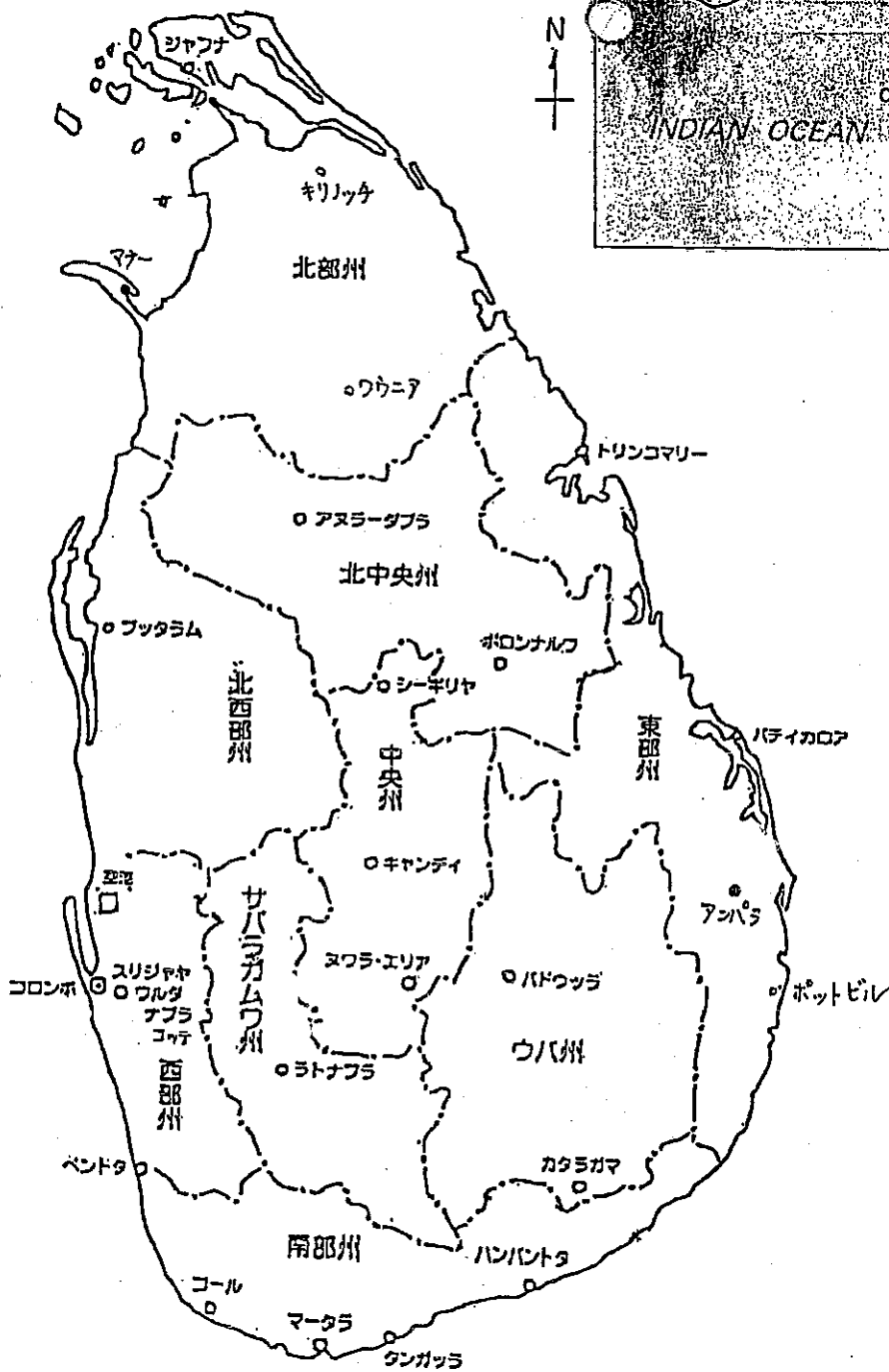
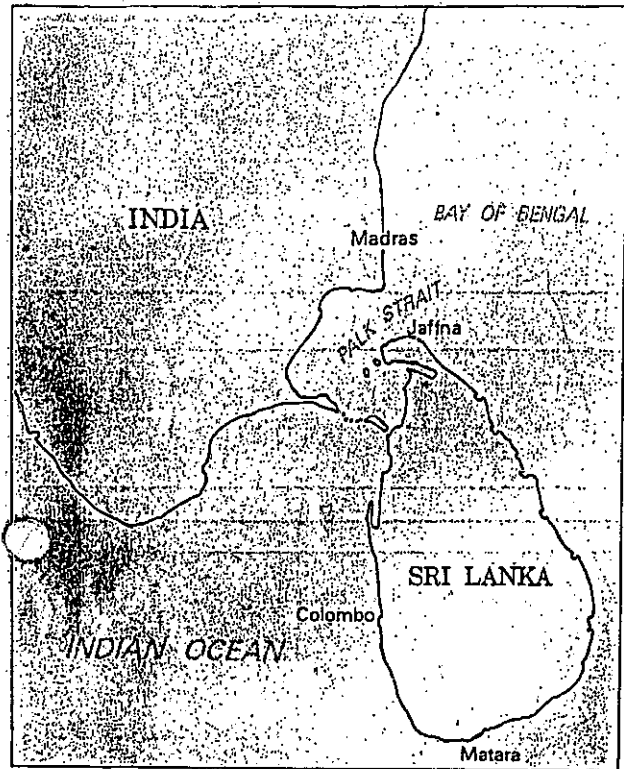


**スリランカ民主社会主義共和国
北部・東部州復興開発支援
プロジェクト形成調査報告書**

平成14年11月
(2002年)

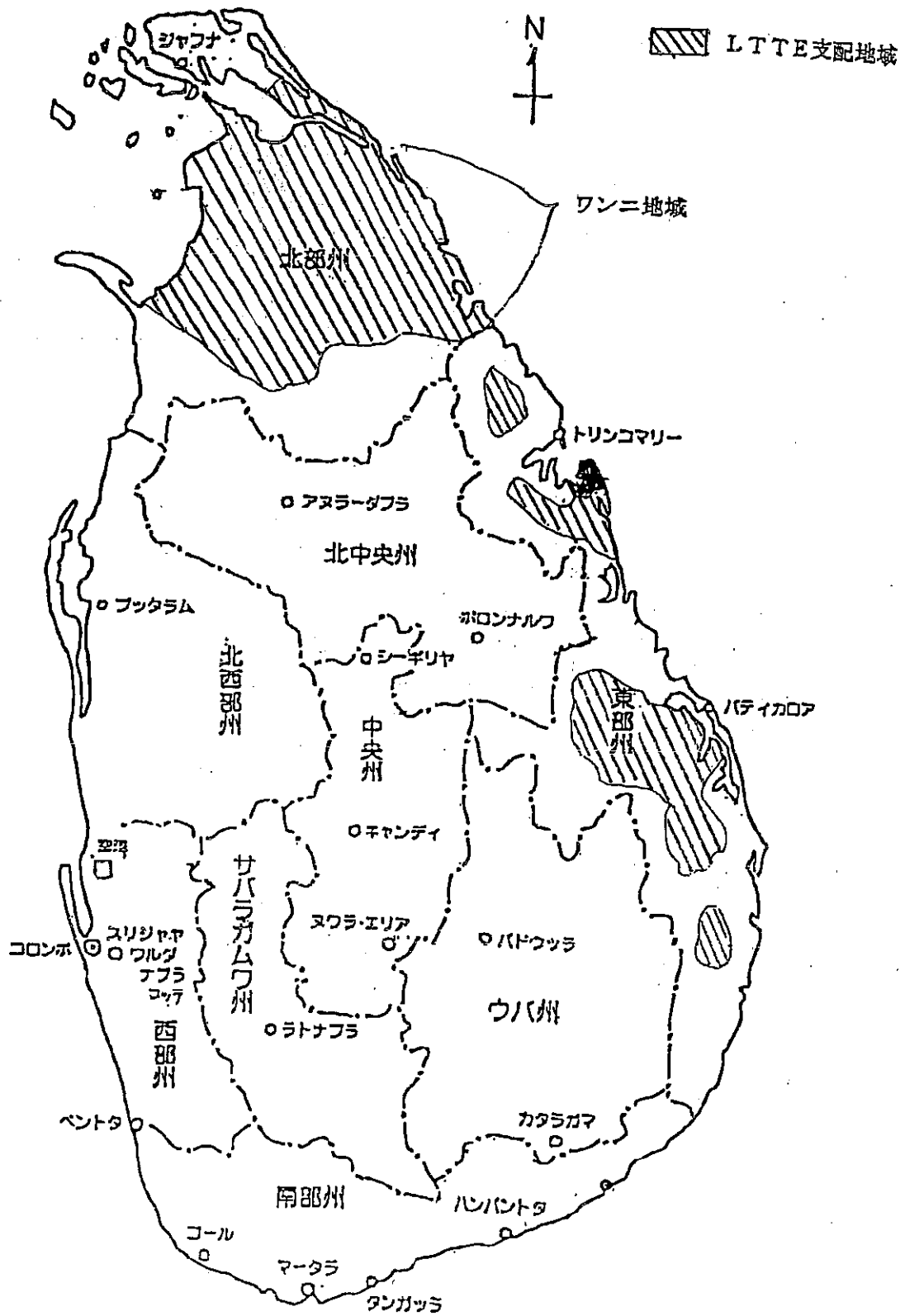
国際協力事業団
アジア第二部

①スリ・ランカ全体地図



②LTTE 支配地域地図

2002年10月現在

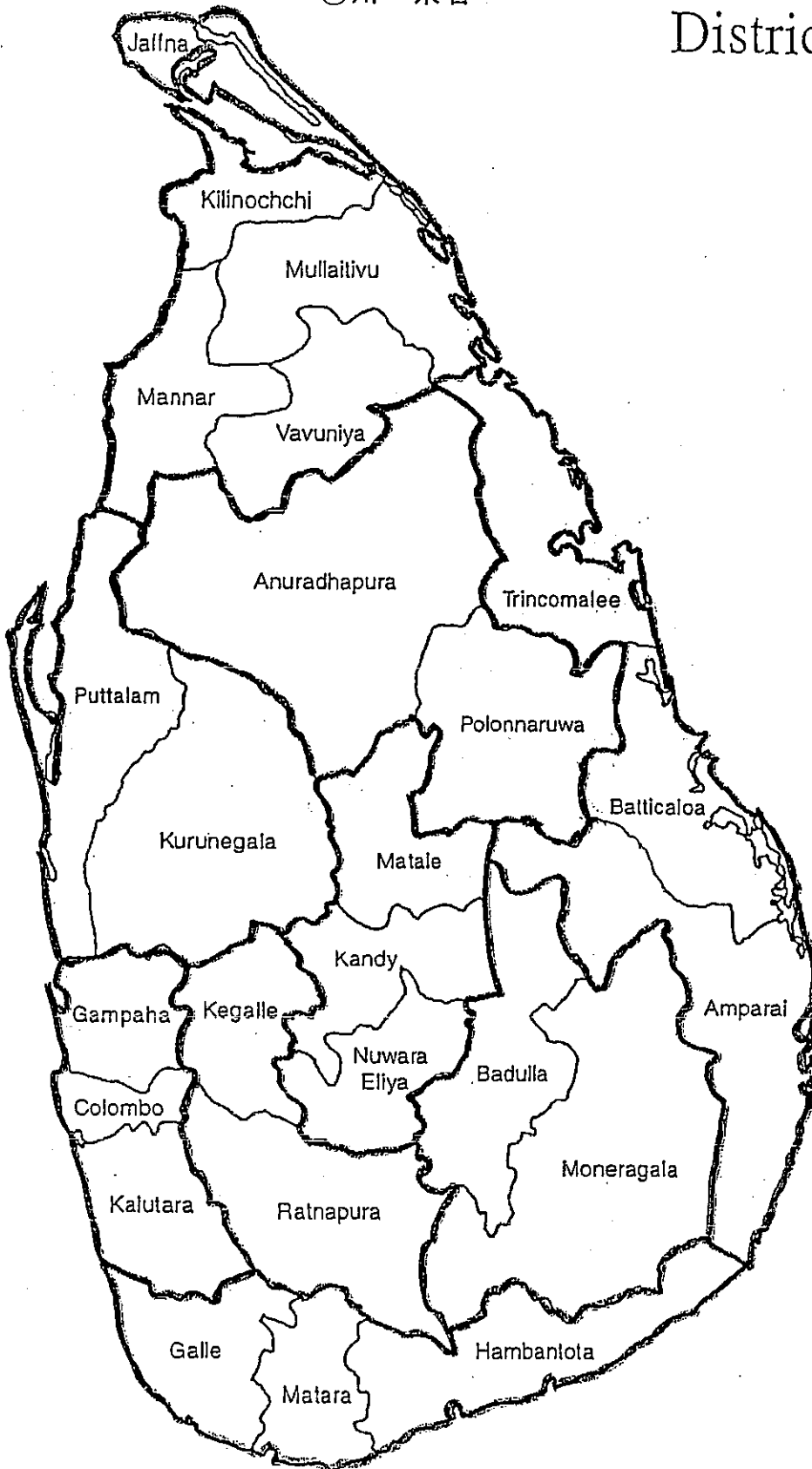


③都市名



④州・県名

Districts of Sri Lanka



CENTRAL PROVINCE

Kandy
Matale
Nuwara Eliya

EASTERN PROVINCE

Trincomalee
Batticaloa
Amparai

NORTH CENTRAL PROVINCE

Anuradhapura
Polonnaruwa

NORTHERN PROVINCE

Vavuniya
Mannar
Mullaitivu
Jaffna
Kilinochchi

NORTH WESTERN PROVINCE

Kurunegala
Puttalam

SABARAGAMUWA PROVINCE

Ratnapura
Kegalle

SOUTHERN PROVINCE

Galle
Matara
Hambantota

UVA PROVINCE

Badulla
Moneragala

WESTERN PROVINCE

Colombo
Gampaha
Kalutara

⑤主要幹線道路

TRANSPORT

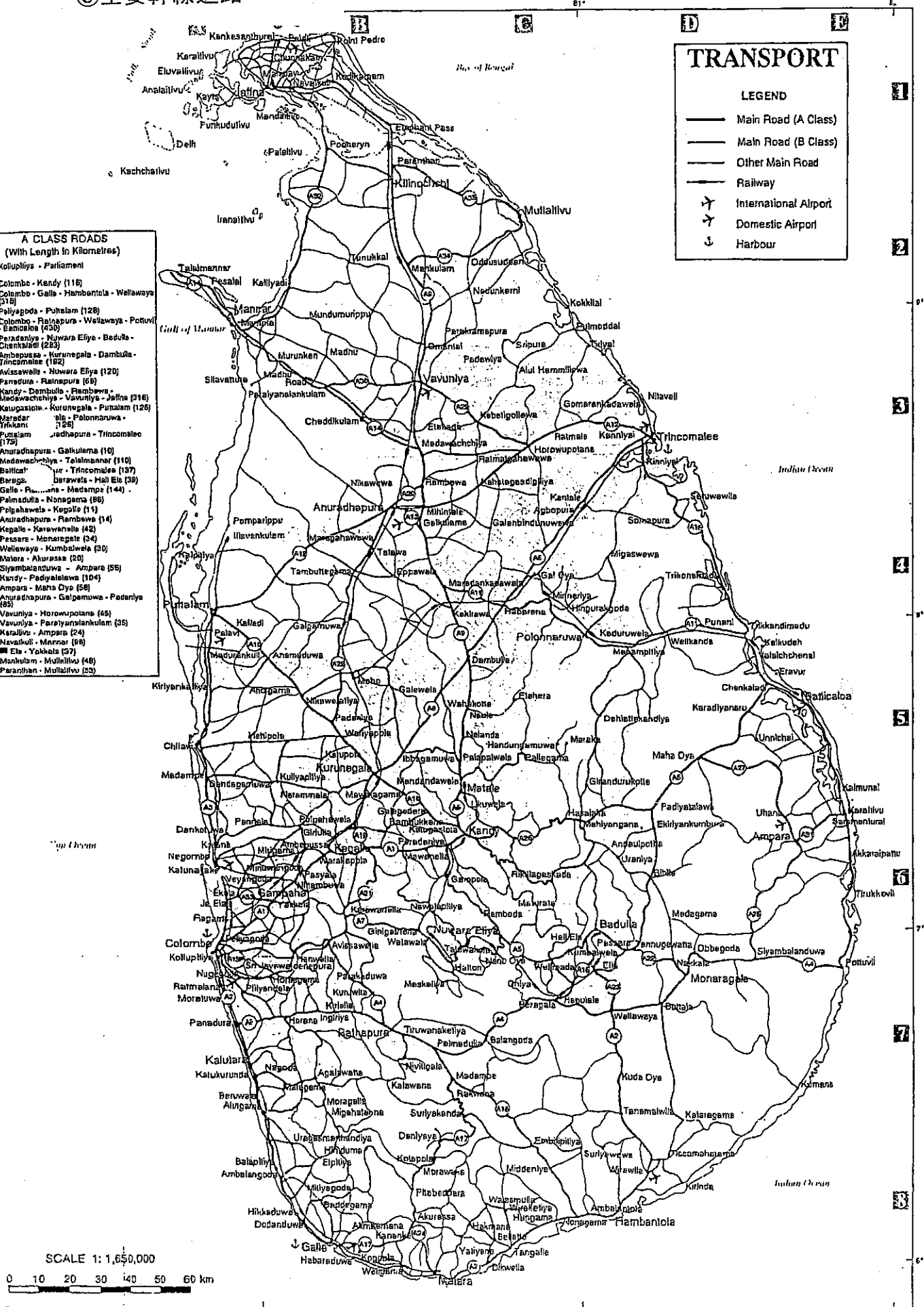
LEGEND

- Main Road (A Class)
- Main Road (B Class)
- Other Main Road
- Railway
- ✈ International Airport
- ✈ Domestic Airport
- ⚓ Harbour

A CLASS ROADS

(With Length in Kilometres)

- Kolupitiya - Parliament
- Colombo - Kandy (118)
- Colombo - Galle - Hambantota - Wellawaya (318)
- Peliyagoda - Puhalam (128)
- Colombo - Rajapura - Wellawaya - Potuvil - Battaramulla (239)
- Peradeniya - Nuwara Eliya - Bedula - Chenkaiyala (283)
- Ampassara - Kurunegala - Dambulla - Trincomalee (192)
- Avissawella - Nuwara Eliya (120)
- Panadura - Rajapura (68)
- Kandy - Dambulla - Rambewa - Medawachchiya - Vavuniya - Jaffna (316)
- Katugastota - Kurunegala - Panalam (128)
- Martart - Galle - Palanaruwa - Trincomalee (126)
- Patalam - Rajapura - Trincomalee (179)
- Anuradhapura - Galkulama (10)
- Medawachchiya - Talaimannar (110)
- Battaramulla - Trincomalee (137)
- Bregga - Berawela - Hali Ela (38)
- Galle - Palanaruwa - Medampz (144)
- Palamadula - Nongama (88)
- Pelgahawela - Kegalle (11)
- Anuradhapura - Rambewa (14)
- Kegalle - Karavunnala (42)
- Pessara - Monaragala (34)
- Wellawaya - Kumbalwela (30)
- Matara - Akurassa (20)
- Siyambalanduwa - Ampara (56)
- Kandy - Padiyalaewa (104)
- Ampara - Maha Oya (58)
- Anuradhapura - Galpamuwa - Padaniya (85)
- Vavuniya - Horowupotana (45)
- Vavuniya - Paralyanankulam (35)
- Karalliya - Ampara (24)
- Navalulu - Minnar (88)
- Ela - Yakkala (37)
- Mankulam - Mullaitivu (48)
- Paranhan - Mullaitivu (53)



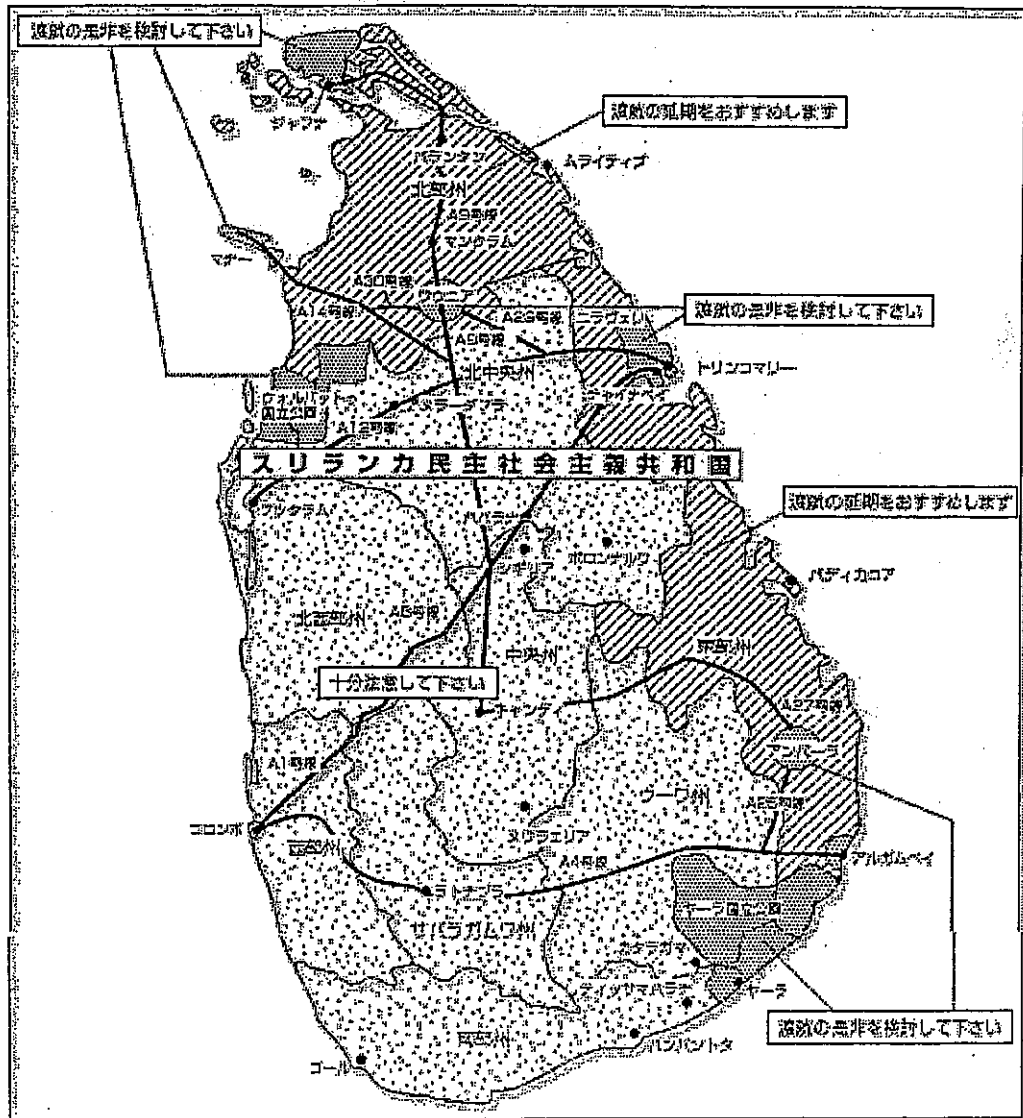
SCALE 1:1,650,000

0 10 20 30 40 50 60 km

⑥外務省 渡航情報

スリランカに対する渡航情報(危険情報)の発出

- 北部州 (ジャフナ市街、ワウニア市街)
 - : 「渡航の是非を検討して下さい」 (継続)
- (マナー市街)
 - : 「渡航の是非を検討して下さい」 (引き下げ)
- (上記以外の地域)
 - : 「渡航の延期をおすすめします」 (継続)
- ウィルパットゥ国立公園 (北西部州及び北中央州の一部地域)
 - : 「渡航の是非を検討してください」 (引き上げ)
- 北西部州、北中央州 (ウィルパットゥ国立公園以外の地域)
 - : 「十分注意して下さい」 (継続)
- ヤーラ国立公園 (東部州、南部州、ウーワ州の各々一部地域)
 - : 「渡航の是非を検討して下さい」
 - (南部州とウーワ州に属する地域、継続)
 - (東部州に属する地域、引き下げ)
- 東部州 (トリンコモラー県トリンコモラー市、チャイナベイ地区及びニラヴェリ地区)
 - : 「渡航の是非を検討して下さい」 (継続)
 - (アンパラー県アンパラー市及びアルガムベイ地区)
 - : 「渡航の是非を検討して下さい」 (引き下げ)
- 東部州 (上記以外の地域)
 - : 「渡航の延期をおすすめします」 (継続)
- 上記以外の地域
 - : 「十分注意して下さい」 (継続)



- 凡例:
- ☒ 「退避を勧告します」
 - ▨ 「渡航の延期をおすすめします」
 - ▤ 「渡航の是非を検討して下さい」
 - ⋯ 「十分注意して下さい」

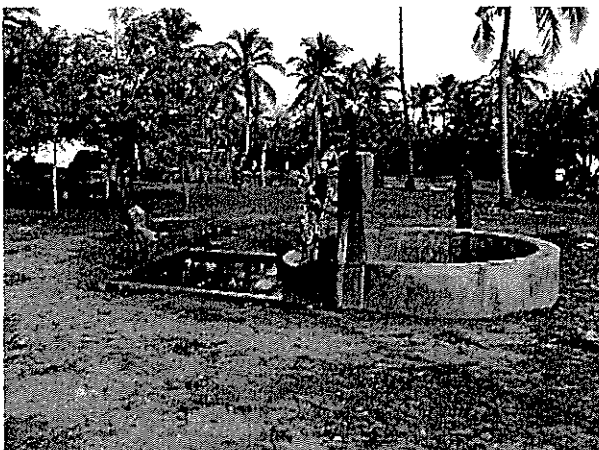
2002年10月6日



ニラウェリ難民キャンプ入り口（UNHCRが支援）。この右手にコミュニティーホールがあり、自治会長が管理している。ほとんどの子供は学校に通っている。



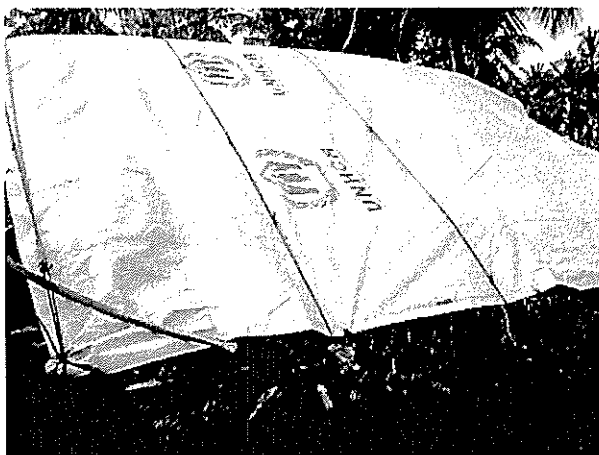
当難民キャンプの住民のほとんどが、ニラウェリ北部のタミル人の村出身で、ワンニ地域から帰還してきたが、村の整備が終わっていないためとどまっている。



UNHCRの支援で建設された井戸。停戦後、帰還民が増加したため、反対側に新しい井戸を建設中。約140世帯が住んでいる。



トイレ。材料はトタンで、床はセメントで固めてある。バケツを使って水を流す。簡易浄化槽があるが、最終的に地価に浸透するシステム（一般的な方法）。



10月過ぎから雨期が始まる。ココナッツの葉でふいた屋根は約3年経過し、雨漏りが激しいため、UNHCRからビニールテントが支給され、これを屋根に被せている。



キャンプに来て約1年が経った家。炊事は家の外の地面で行っている。来年には村に再定住できるという郡からの知らせだが、皆、懐疑的である。

2002年10月6日



トリンコモリー、アラスガーデン難民センター。



長屋式の住居。写真左側は給水タンクだが、水不足のため使用されていない。



長屋式の建物に、ココナツの葉と材木を利用して建て増しをし、炊事などを行う場所を確保している。



住居内部。男性の右側と後方の衣類が掛けてある部分が隣と後方の世帯との仕切り。この男性は自転車を持っている。



シンハラ人の避難センター。一戸建てで、他の地区よりは環境が良い。電気があり、かなりの家がテレビを持っているらしく、屋根の上にアンテナが立ててある。



同避難センターのトイレ。回りがトタンで、バケツで水を流す水洗式。自然浄化式の浄化槽がある。

2002年10月6日



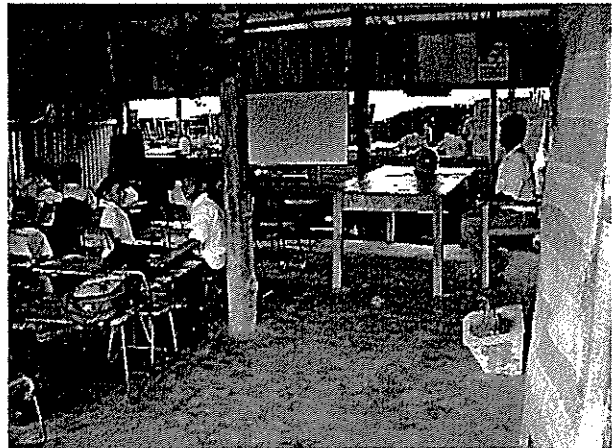
長屋式難民センターにある幼稚園。幼稚園教諭と園児の母親。幼稚園は昼で終了する。



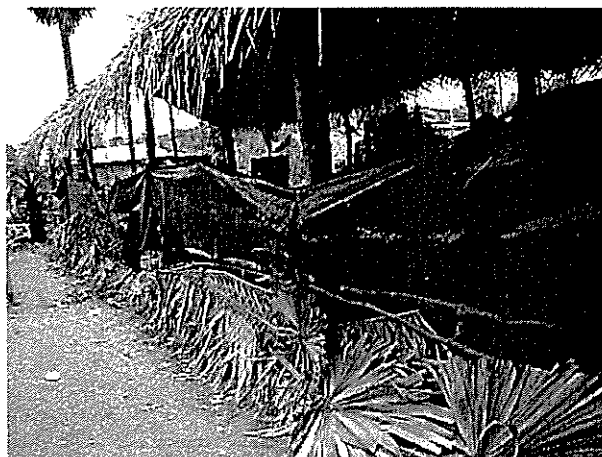
幼稚園児には毎日昼食を出しており、ここで調理をする。ご飯とおかずが3品くらい。



幼稚園兼学校の外観。



難民キャンプ内の学校教室。



仮設の学校教室はココナツの葉で屋根を葺き、黒いビニールで囲ってある。

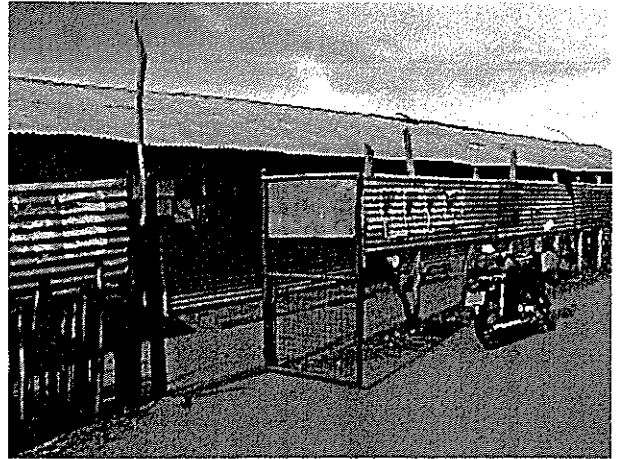


仮設学校教室内部。クラスごとの仕切りはない。床はセメント。

2002年10月6日



難民キャンプ内の幼稚園。学校が終了したあと、これまで学校に行っていなかった児童を対象に、ここでキャッチアップ・エデュケーションクラスが始まる。約1年をかけて、年齢にあったクラスで勉強ができるようにするもので、学校のないところに避難していた児童にとっては、社会生活に慣れるための機会としても重要である。



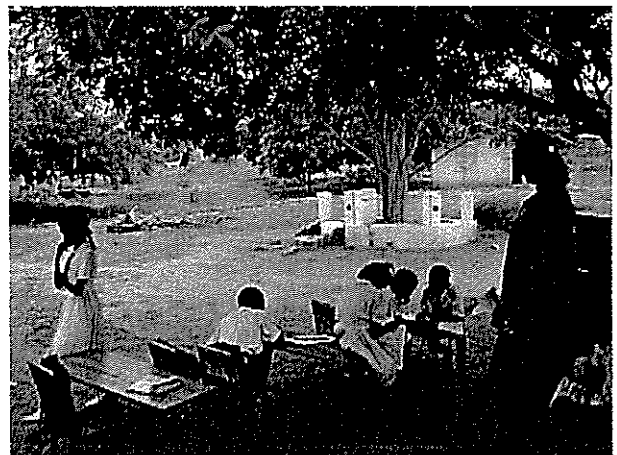
タミル人の学校で、陸軍が駐留していたところ。そのためLTTEの攻撃を受け、教室の屋根は銃弾の穴があいている。



穴のあいた屋根の下の授業風景。身体にあった机や椅子がなく、低学年用の机と椅子を使用している。



LTTEの攻撃を受けて右半分が破壊された校舎。軍隊が駐留した学校は、地雷や不発弾に注意しなければならない。ここでも、児童1名が手榴弾の不発弾で死亡している。

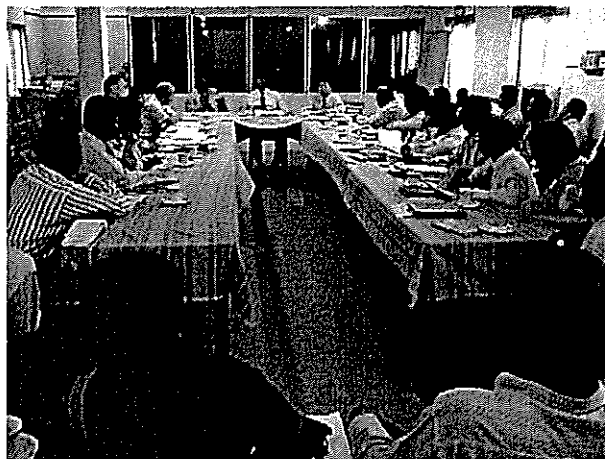


教室が少ないため、外で授業をしている。木の向こう側には塹壕が残っており、まだ整備されていない。

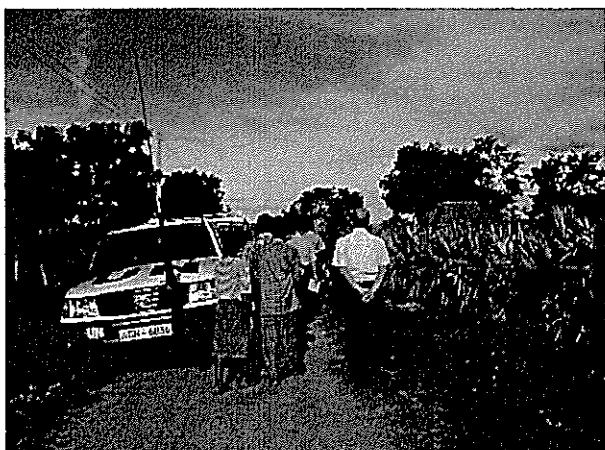
2002年10月 6 日



トリンコマリ県事務所での、県職員、NGO及びUN関係者との会議風景。灌漑、給水、学校、障害者対策などの問題等についての発表があった。



バティカロア県事務所での会議風景。県内の郡事務次官、NGO代表らが参集した。



トリンコマリ県、ニラヴェリ再定住村。UNICEFが資金を提供し、Oxfamが事業の実施を行っている。再定住後3年が経過している村。



各世帯は、約1エーカーの土地を配分され、主に小たまねぎ(ワケギ状)を栽培している。農作業は主に女性が行い、男性は出稼ぎに行っている。



屋根がココナツの葉からトタンに変わり、UNICEFの支援でトイレが造られた。



コミュニティーホールもUNICEFの支援で建設されたが、建設工事のほとんどは住民が行った。

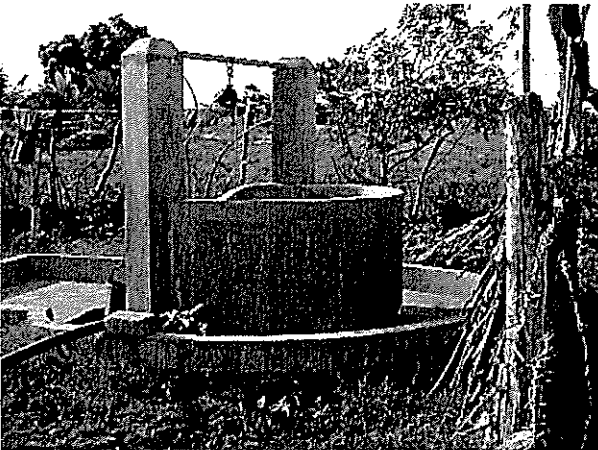
2002年10月6日



再定住地付近の地主の土地を、グループで借り受けてタマネギ栽培を始めようとしていた。主に牛糞を使用して、化成肥料を使わずに栽培している。



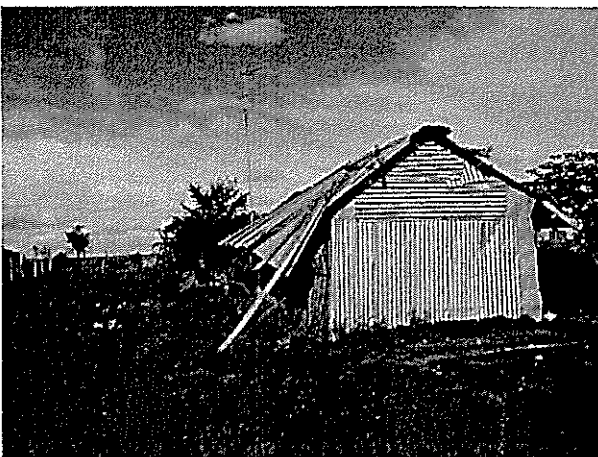
タマネギ畑。個人で栽培している。灌漑には井戸水を利用。揚水ポンプを利用しているが、借り賃は1日Rs. 300。



UNICEF/Oxfamの支援で完成した井戸。約8世帯に1基の井戸が建設され、グループ管理をしている。灌漑用水に使用せず、飲料用水として利用している。



同じくUNICEF/Oxfamの支援で完成したトイレ。トイレの後ろにセプティック・タンクがある。バケツで流す水洗式で、自然浄化としている。



再定住村の中の1軒。紛争時は2回避難をし、最終的にLTTE統治地域のワンニ地区にいて、再度村に帰還した家。タマネギ栽培と日雇い労働をして、最近テレビを購入した。電源はカーバッテリー。



上の写真のトイレ内部。壁はレンガとセメントで造り、ドアは木枠にトタンを取り付けてある。このトイレができるまでは、近くの森に行っていた。

2002年10月7日



ポロンナルワからバティカロアへ向かう道中のLTTE事務所。



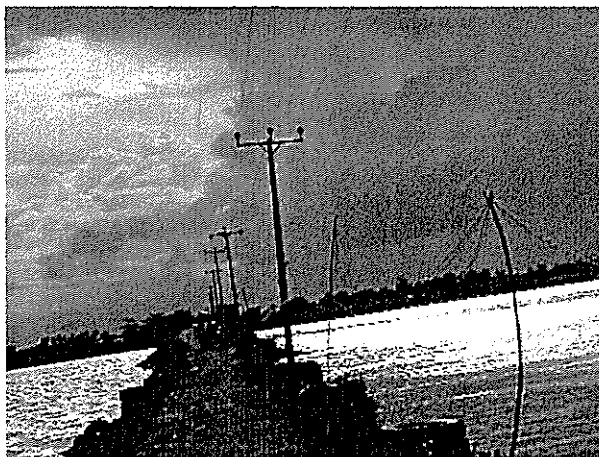
バティカロアへの道路は舗装がしてあり、北部より数段良いコンディションにある。行き交う車は、自家用車はほとんど見かけず、物資輸送のトラックやバスが多い。



LTTE統治地域と政府統治地域の境界にある検問所。写真は、政府陸軍兵士。



左の写真と同じ。通行する車はここでいったん停止し、行き先と身分証明書番号を書く。停戦後は手続きやチェックが簡略にはなったとのことである。



両側はラグーンで、これを渡りきった場所から先がLTTE統治地区。バティカロア東部に位置しており、農業（稲作）地帯である。

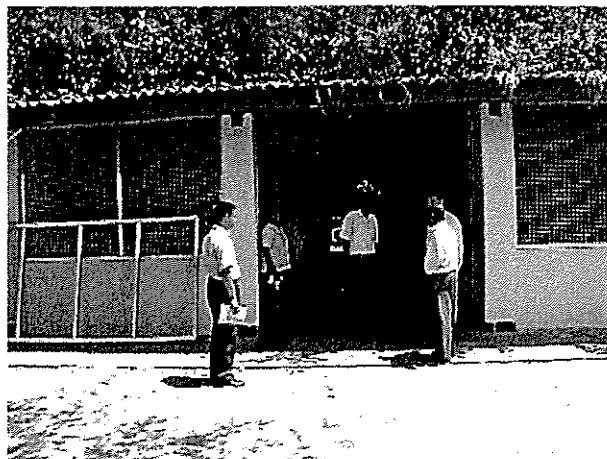


LTTE統治地域の水田。雨期を前に水田は4輪トラクターを利用して、荒おこししてある。

2002年10月7日



バティカロア県サルボダヤ事務所の職員。



同サルボダヤが運営する職業訓練所のワークショップ。三輪車の修理、メンテナンスを習う。



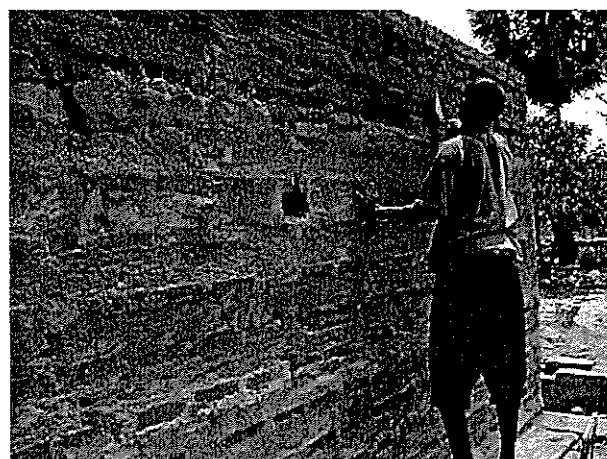
当訓練所では、女性も男性とともに実習を受けていた。



同左



左官及び大工コースの実習訓練。トイレのセプティック・タンクを建設しているところ。



壁のモルタル塗り。